



**戦争をさせない**  
Anti-War Committee of 1000  
**1000人委員会**

1000 人委員会ニュース  
NO.54

(2017 年 1 月 26 日)

〒101-0063 東京都千代田区  
神田淡路町 1-15 塚崎ビル三階  
TEL03-3526-2920  
FAX03-3526-2921

# 市民連合が新春大演説会 今年こそ安倍政権の打倒を！ 1月7日、東京・新宿駅西口に2500人



「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」と「戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会」は 1 月 7 日、新宿駅西口において「ともに闘う 2017 ファーストアクション 1.7 新宿西口大演説会」を開催しました。2500 人以上の参加のもと、安倍政権の憲法破壊に対決する野党共闘を打ち固め、衆議院選挙での勝利を実現すべく力を尽くすことを確認しあいました。

この日の大演説会は司会を菱山南帆子さん（総がかり行動実行委員会）と諏訪原健さん（市民連合）が務め、まず、市民連合を代表し山口二郎さん（法政大教授）があいさつ。「現在世界で進行しつつある民主主義の危機を、実は第 1 次安倍政権以来日本が先取りしてきた」と指摘。「民主政治を取り戻すたかひを、この日本から開始しよう」と呼びかけました。また、「報道の自由や三権分立という権力の暴走の歯止めとなる機能が働いていない以上、独裁政治に引導を



渡すため選挙で勝つ必要がある。野党がしっかりと協力し、それを市民が支えよう。民主主義を守るために、市民と野党が大いに『共謀』しよう」と檄を飛ばしました。

立憲野党からは、社民党の福島瑞穂副党首、自由党の青木愛副代表、共産党の志位和夫委員長、そして民進党の安住淳代表代行が





それぞれ登壇し、安倍政権の暴走政治を止めるために頑張る決意を表明しました。そして4者はがっちりと握手し、新宿駅前を埋めた聴衆は満場の拍手で応えました。小選挙区制の衆議院選挙における具体的な選挙協力の実現に向けてはまだ課題が残っていますが、さらなる努力を重ねていくなかで必ずすすむべき未来をひらくことができる。そのために市民による後押しがよりいっそう重要な意味を持ちます。2017年、安倍政権と対峙する市民と野党の共闘を、大きくひろげましょう！



## 「安倍政治を終わらそう！1・19 院内集会」を開催 孫崎享さん(元外務省国際情報局長)が講演 「我々が安倍総理から日本を取り戻す！」 共催：立憲フォーラム・戦争をさせない1000人委員会

### 安倍政治を終わらそう！1月19日集会

主催：立憲フォーラム・戦争をさせない1000人委員会

1月19日、参議院議員会館講堂で、「安倍政治を終わらそう！1・19 院内集会」が開催され、元外務省国際情報局長の孫崎享さんが講演、約200名が参加しました。



集会は、江崎孝参議院議員の司会で始まり、主催者を代表して、立憲フォーラム代表の近藤昭一衆議院議員が挨拶、「あの過去の戦争を忘れてはならないし、その教訓から学

ばなければならない。その結果として憲法の平和主義があり、基本的人権や国民主権がある。安倍政権はその真逆のことをやろうとしている。」と訴えました。



そして、孫崎享さんが、「2017年世界との向き合い方」と題して講演を行い、「今年は選挙の年になる。安倍総理が日本を取り戻すのではなく。我々が安倍総理から日本を取り戻さなければならない。そのためには、私たち一人ひとりの行動にかかっている。」と提起しました。【講演要旨別途参照】



また、社民党の福島瑞穂参議院議員、糸数慶子参議院議員、伊波洋一参議院議員が連帯の挨拶を行いました。

最後に、戦争をさせない1000人委員会の福山真劫さんが当面の行動提起を行い、沖縄の反基地運動のリーダーである山城博治さんへの不当弾圧不当な長期勾留が続いている。即時釈放を求める取り組みへの協力を！また、現在78万筆集まっている沖縄新基地建設反対統一署名への一層の協力を！と訴えるとともに、行動日程として2月19日の日比谷野音での格差貧困問題での集会とデモ、5・3憲法集会へ参加を訴えました。



一部の人たちだけでなく

すべての人の生活水準が上がる社会をどうやってつくるのか世界で問われている。

## 孫崎享さんの講演要旨



今、私たちは、歴史的な時代を迎えている。英国のEUからの離脱や欧州のナショナリズムの拡大。これまでは、未来が明るい時代になると考えたのに、これからは、暗い時代になるのではないかなと思うようになってきている。トランプの当選はその象徴だ。新大統領に好意的か否定的かを尋ねる米国のある世論調査によれば、トランプは、好意的が40%、否定的が54%と、歴代の大統領に比べて最悪の結果となった。トランプを米国民がいかに嫌っているかの数字だ。民主党のサンダースは希望を必死になって訴えていた。勉強したい人が大学に行ける、病気で医者にかかりたい人が病院に行ける社会を作るという希望だ。つまり米国では、それができない社会なのだ。米国は病んでいる。米軍が日本へ駐留している経費の日本側の負担は現在約7600億円だが、日米地位協定では日本側が負担する義務はない。この金額は、日本の国公立大学の無償化ができる金額だ。

トランプ政権で国防長官になるマティスはイラク戦争のときの司令官だが、駐留経費の増額を主張するばかりでなく、米軍の軍艦や戦闘機の負担、戦闘への協力、「血を流せ」とも言っている。9・11以降のテロの犠牲者は400名程度だが、テロとの戦争で犠牲になった一般人は、テロの犠牲者を上回る3万人以上になった。だから戦火を逃れる大量の移民が発生し、欧州にナショナリズムが強まり、そして、テロに走る人を新たに作ることもあった。こんな連鎖をやめさせなければならない。そのためには、現地へのことは現地に任せ、西側が軍事行動から手を引くことだ。

トランプの問題は、単にトランプの問題ではなく、私たちの社会のありようが問われている。社会という名前のついた政党は消えそうになっているが、今だからこそ、必要になっているかも

しれない。自由貿易と技術革新が我々の暮らしをよくすると思われてきた。しかし今は逆だ。一部の人のみが豊かになるだけである。

これが問われたのが米国の大統領選挙であり英国のEU離脱だった。一部の人だけではなくすべての人の生活水準が上がるような社会をどうやって作るかが、世界で問われている。トランプ政権による米国は必ず米国民が求めるものと逆の方向にひたすら走って行き、社会的不安を出して次の大統領選挙に行くだろう。

安倍総理はヒラリーが勝ちそうだからヒラリーに会い、トランプが勝ったらトランプに会いに行き、それを批判されたら今度はオバマに会いに行く。これをおかしいといえない日本。メディアも言えなくなった。報道の自由は民主主義の根幹だ。日本の戦後民主主義は与えられたもので、勝ち取ったものではない。しかし民主主義が今、失われようとしている。民主主義を取り返さなければならない。今年は選挙の年になる。安倍総理が日本を取り戻すのではなく、我々が安倍総理から日本を取り戻さなければならない。そのためには、私たち一人ひとりの行動にかかっている。



## 安倍内閣の退陣を！

## 自衛隊の南スーダンからの撤退を！

## 1・19 総がかり国会前行動に3000人

1月19日夕方から、2017年最初の月例行動として「安倍政権の暴走止めよう！自衛隊は南スーダンから撤退を！1.19総がかり行動」が開催されました。寒波が襲来、たいへん寒いなかでしたが、約3000人が集まり、ともに安倍政権への怒りの声をあげました。

野党各党からのあいさつでは、沖縄の風代表の糸数慶子さん（参議院議員）、民進党副代表の近藤昭一さん（衆議院議員）、社民党党首の吉田忠智さん、共産党国対委員長の井上哲士さん（参議院議員）がそれぞれ、通常国会での憲法改悪の策動や共謀罪再提出の動きを見せている政府与党とたたかう決意を表明しました。

主催者あいさつは小田川義和さん（憲法共同センター）。冒頭、粘り強く「19日」行動を継続しようと呼びかけました。米艦船共同防護、多国籍軍への後方支援など戦争法の実体化が加速している現状を踏まえつつ、共謀罪のみならず家庭教育支援法案の提出の動きについて、戦争国家への道として絶対に許さず、安倍政権に対し野党と市民の共闘で立ち向かうことを訴えました。



連帯発言として、まず弁護士の武谷直人さんから安保法制違憲訴訟の現状について報告。「すでに15地裁で訴訟が開始され、全国に先駆けて始まった東京での訴訟では3月に第3回口頭弁論が予定されている」ことを報告しました。違憲な法律を国が合憲と言いくるめることを許さず追及していくことを明らかにし、継続しての支援・協力呼びかけました。





次に沖縄のたたかいに対するデマ宣伝を行った東京MXテレビ「ニュース女子」への抗議にとりくむ川名さんが発言、知り合い3人から始まった抗議活動が20人、60人とひろがってきていることを報告、MXテレビに提出した抗議文を読み上げました。そして26日昼の3回目の抗議行動への参加を訴えました。

武器輸出反対ネットワークの杉原浩司さんは、米国防総省関係者が昨年、米軍の装備などに採用できる技術を調査するため、日本企業を対象にした説明会を秘

密裏に行ったところ60社も参加したことや、防衛省のつくった軍学共同推進制度が110億円へ拡大していることを紹介。軍産学複合体形成に向けた動きに反対する署名運動などへの協力を呼びかけました。



行動提起を高田健さん(9条を壊すな!実行委員会)が行い、2017年、安倍政権を退陣に追い込むために、さらに街頭での行動を拡げること、そして野党共闘で選挙に勝利することに全力を挙げようと訴えました。また、2月19日には貧困・格差の問題をテーマとした総がかり行動を開催すること、沖縄統一署名の第2次集約を3月末として継続してとりくむことを提起しました。

## 1月20日通常国会が開会 国会前で総がかり行動



総がかり行動実行委員会は、通常国会が開会された1月20日12時から、国会議員会館前で、「安倍政権の暴走を止めよう! 1・20国会開会日行動」を実施し、600名が参加。共謀罪の成立反対「守れ! いかせ憲法」のプラカードを掲げ、野党と市民との共闘の輪を強め、安倍政権打倒に向けてたたかい抜くことをアピールしました。



沖縄県民の民意尊重と基地の  
押し付け撤回を求める全国統一署名を  
成功させよう  
第二次締め切りは3月末

### ◆◆◆◆ 主な行動日程 ◆◆◆◆

#### ■ 2月10日(金)

◇「女たちの違憲訴訟」東京地裁第1回口頭弁論 15時から  
103号法廷・傍聴券受付締め切り 14:30

◇報告集会 17:00 から 18:00 場所: 参議院会館

#### ■ 2月19日(日) 開場 12:30、開始 13:10~

##### ◇2・19 総がかり行動

—格差・貧困にノー! みんなが尊重される社会を!—

○イベント: オオタスセリ(芸人9条の会)

○スピーチ: 本田由紀さん(東京大学大学院教授)

・場所: 日比谷野外音楽堂・主催: 総がかり行動実行委員会

#### ■ 2月21日(火) 17時から

◇安倍政治を終わらせよう! 2・21 院内集会

内容は共謀罪問題で調整中

場所: 参議院議員会館講堂 主催: 戦争をさせない1000人委員会・立憲フォーラム

#### ■ 3月3日(金)

◇違憲訴訟国賠訴訟第3回口頭弁論 10:30~東京地裁 103号法廷/傍聴受付 10時締切

◇報告集会 13:00 から、議員会館(詳細未定)